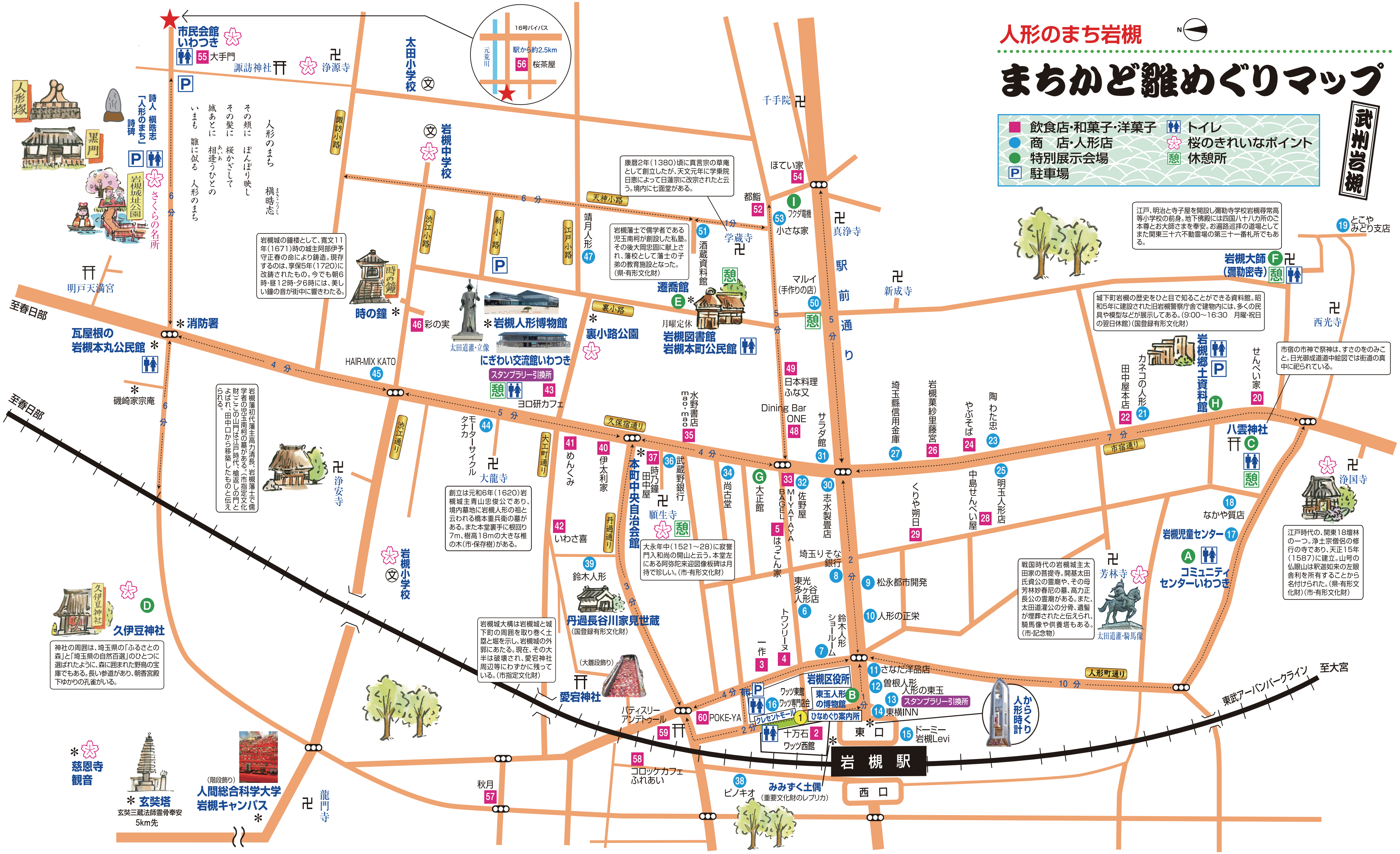
人形のまち岩槻

まちかど雛めぐりマップ

武州岩槻



■ 飲食店・和菓子・洋菓子
● 商　店・人形店
● 特別展示会場
P 駐車場
🚻 トイレ
✿ 桜のきれいなポイント
憩 休憩所

人形のまち　槇皓志（まきこうし）

その頬に　ぼんぼり映し
その髪に　桜かざして
城あとに　相逢（あいあ）うひとの
いまも　雛に似る　人形のまち

康暦2年（1380）頃に真言宗の草庵として創立したが、天文元年に学乗院日恵によって日蓮宗に改宗されたと云う。境内に七面堂がある。

岩槻藩士で儒学者である児玉南柯が創設した私塾。その後大岡忠固に献上され、藩校として藩士の子弟の教育施設となった。（県・有形文化財）

岩槻城の鐘楼として、寛文11年（1671）時の城主阿部伊予守正春の命により鋳造。現存するのは、享保5年（1720）に改鋳されたもの。今でも朝6時・昼12時・夕6時には、美しい鐘の音が街中に響きわたる。

江戸、明治と寺子屋を開設し彌勒寺学校岩槻尋常高等小学校の前身。地下佛殿には四国八十八カ所のご本尊とお大師さまを奉安。お遍路巡拝の道場としてまた関東三十六不動霊場の第三十一番札所でもある。

城下町岩槻の歴史をひと目で知ることができる資料館。昭和5年に建設された旧岩槻警察庁舎で建物内には、多くの民具や模型などが展示してある。（9:00～16:30　月曜・祝日の翌日休館）（国登録有形文化財）

市宿の市神で祭神は、すさのをのみこと。日光御成道道中絵図では街道の真中に祀られている。

岩槻藩初代藩主高力清長、岩槻藩士で儒学者の児玉南柯の墓がある。（市指定文化財）この山門は江戸時代、槍返しの門とよばれ、田中口から移築したものと伝えられる。

創立は元和6年（1620）岩槻城主青山忠俊公であり、境内墓地に岩槻人形の祖と云われる橋本重兵衛の墓がある。また本堂裏手に根回り7m、樹高18mの大きな椎の木（市・保存樹）がある。

大永年中（1521～28）に寂誉門入和尚の開山と云う。本堂左にある阿弥陀来迎図像板碑は月待で珍しい。（市・有形文化財）

戦国時代の岩槻城主太田家の菩提寺。開基太田氏資公の霊廟や、その母芳林妙春尼の墓、高力正長公の霊廟がある。また、太田道灌公の分骨、遺髪が埋葬されたと伝えられ、騎馬像や供養塔もある。（市・記念物）

江戸時代の、関東18壇林の一つ。浄土宗僧侶の修行の寺であり、天正15年（1587）に建立。山号の仏眼山は釈迦如来の左眼舎利を所有することから名付けられた。（県・有形文化財）（市・有形文化財）

神社の周囲は、埼玉県の「ふるさとの森」と「埼玉県の自然百選」のひとつに選ばれたように、森に囲まれた野鳥の宝庫でもある。長い参道があり、朝香宮殿下ゆかりの孔雀がいる。

岩槻城大構は岩槻城と城下町の周囲を取り巻く土塁と堀を示し、岩槻城の外郭にあたる。現在、その大半は破壊され、愛宕神社周辺等にわずかに残っている。（市指定文化財）